

口は健康のもと Vol.128

入れ歯が合わなくなってきた？ がまんしないですぐ受診

虫歯や歯周病などで歯が無くなるとブリッジか入れ歯による治療をしますが、入れ歯は加齢により骨の吸収や歯ぐきの状態によって、痛みが出たり、適合が悪くなるため、歯科医院で定期的に調整が必要になります。しかし、いくら調整しても入れ歯が合わないといった場合には、口腔外科的理由の一つに「義歯性線維腫」というものがあります。見た目は正常な粘膜の色をしていますが、入れ歯の縁に沿ってポリープのようなものができるのが特徴です。

また、似た病気の一つに「フラビーガム」があります。

これは歯ぐきの粘膜が慢性的な刺激で反応性に肥大する病気で、見た目は正常粘膜色で触るとブヨブヨとしたコンニャク状をしています。

この二つの病気の原因は、合わない入れ歯を使い続けていること、不適切な入れ歯の使用（就寝時の義歯装着など）をしていることです。

これらの病気は小さいものであれば、入れ歯の調整で様子を見ることがありますが、治らない場合や大きいものは外科的に切除が必要になります。再発することは稀で、傷の治癒を待って再度入れ歯の調整をする必要があります。

入れ歯が最近合わなくなってきたと思った時には一度歯科医院を受診しましょう。



奥羽大学歯学部附属病院

口腔外科 助手 赤城 陽一郎

